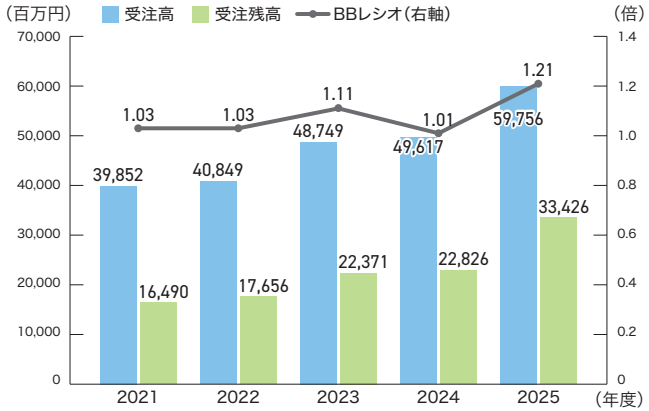
財務・サステナビリティ情報ハイライト

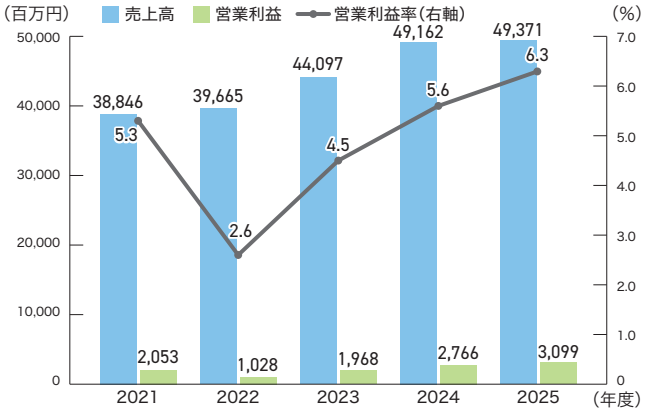
財務ハイライト

◆ 受注高と受注残高及びBBレシオ



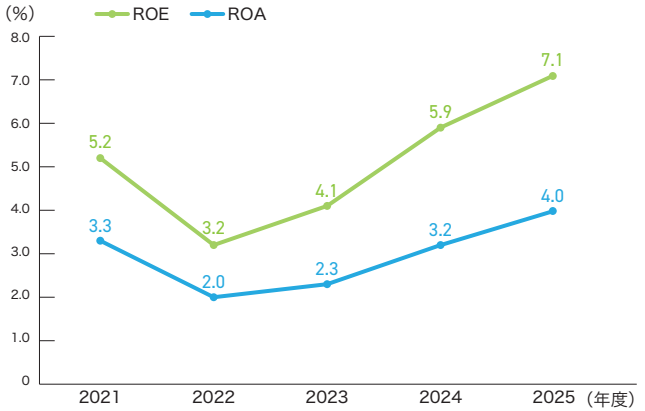
2025年度の受注高は前年度比20.4%増の598億円となり、期末受注残高は同46.4%増の334億円となりました。受注残高は補助金の影響でAP関連を中心に急増しました。

◆ 売上高と営業利益及び営業利益率



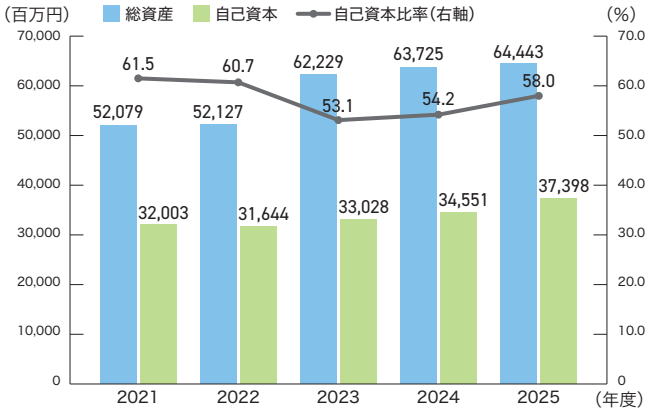
2025年度の売上高は前年度比0.4%増の494億円、営業利益は同12.0%増の31億円といずれも過去最高を更新しました。営業利益率は同0.7pt改善の6.3%となりました。

◆ ROEとROA



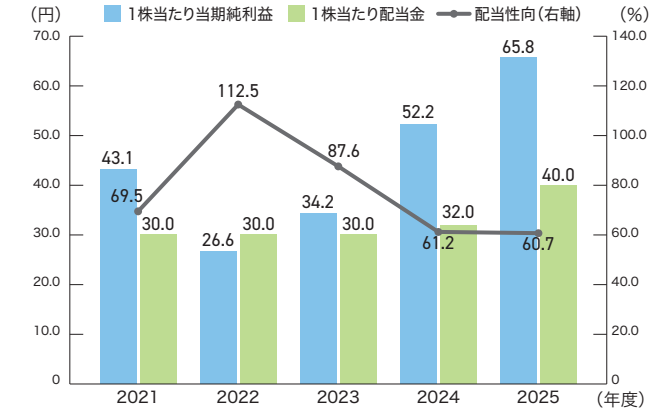
2025年度のROE(自己資本当期純利益率)は前年度比1.2pt改善の7.1%となりました。純資産の増加を抑制する中、収益力が高まりつつあります。

◆ 総資産と自己資本及び自己資本比率



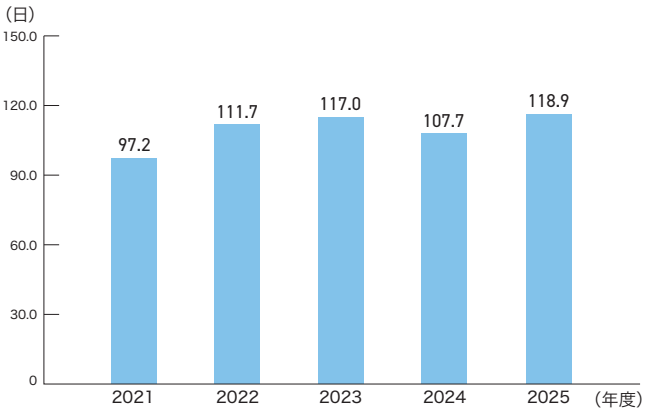
2025年度の自己資本比率は前年度比3.8pt改善の58.0%となりました。過去2年間、自己資本の増加を小幅にとどめることができています。

◆ 1株当たり当期純利益と配当金及び配当性向



2025年度の1株当たり配当金は前年度比8円増の40円となり、配当性向は60.7%となりました。当社は還元方針として配当性向60%以上を掲げており、株主還元の強化を進めていきます。

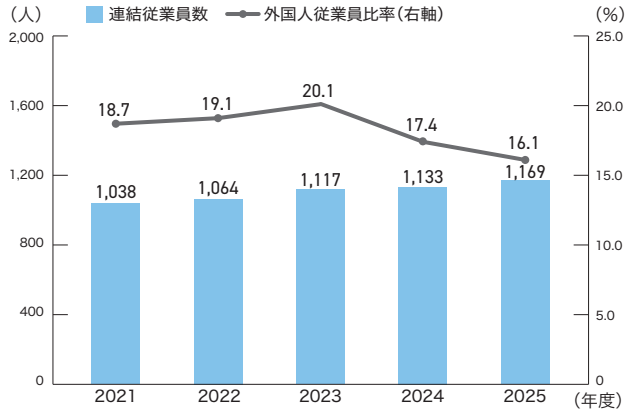
◆ キャッシュ・コンバージョン・サイクル



2025年度のCCC(棚卸資産回転日数+売上債権回転日数−仕入債務回転日数)は、前年度比11.2日長期化しました。積送品をはじめとした棚卸資産の大幅な増加が影響しました。

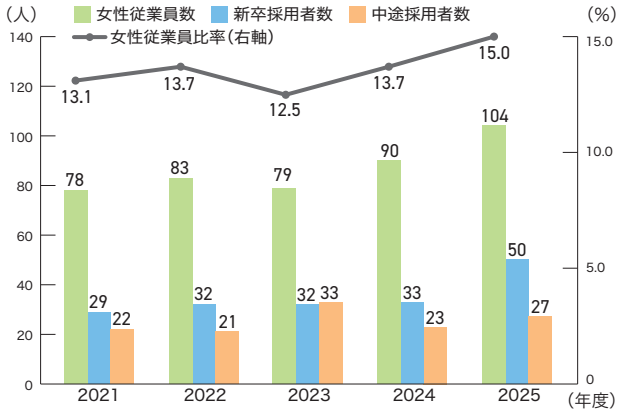
サステナビリティ情報ハイライト

◆ 連結従業員数と外国人従業員比率



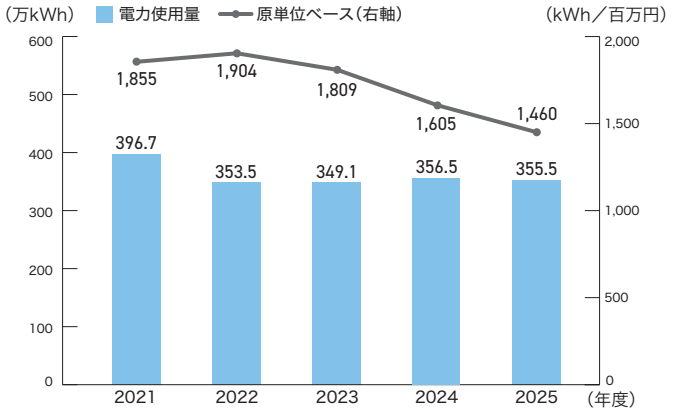
2025年度末の連結従業員数は、前年度末比36人増の1,169人となりました。一方、外国人従業員比率はタイ製造工場の合理化の推進により減少し、16.1%となりました。

◆ 女性従業員数と新卒採用者数及び中途採用者数（単体）



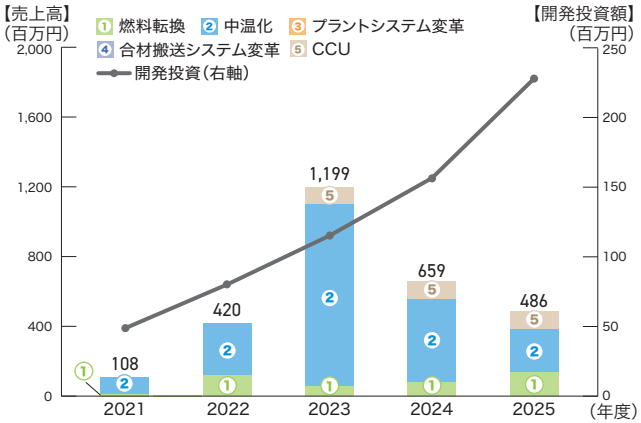
2025年度末の単体ベースの女性従業員数は、前年度末比14人増の104人となりました。また、新卒採用者数は50人へと大きく増加し、人的資本の強化は順調に進んでいます。

◆ 電力使用量と原単位（単体）



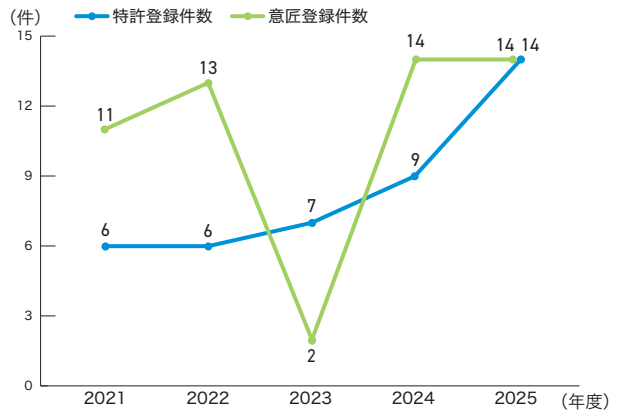
2025年度の電力使用量は、355.5万kWhとなりました。一方、生産高で除した原単位電力使用量は前年度比9%減となり、引き続き削減しました。

◆ 脱・低炭素製品の売上高



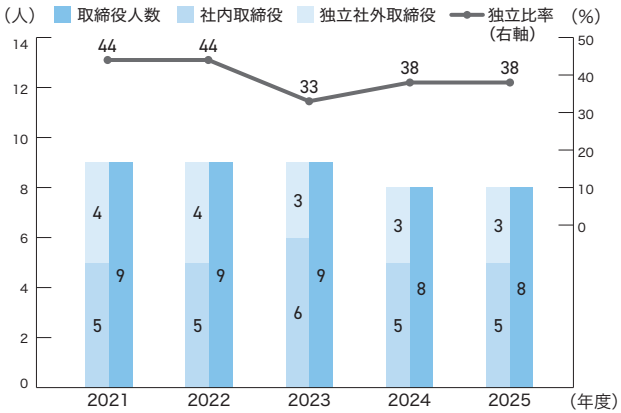
マテリアリティの一つにカーボンニュートラルの実現があり、脱・低炭素製品の売上高をKPIにしています。2025年度は中温化装置の納入が減少し4.9億円となりましたが、商談は引き続き多く、中温化装置は今後も全国的に広がると見込んでいます。

◆ 特許と意匠登録件数



2025年度の特許登録件数は14件となり、前年度比5件増と大きく伸長しました。このうち、AI関連（骨材判別）が4件となり、将来のビジネス拡大への寄与が期待されます。

◆ 取締役会における独立社外取締役比率の推移



2025年度の取締役8人のうち、独立社外取締役は3人で、全体の38%を占めました。改訂コーポレートガバナンス・コードに対応すべく、今後もガバナンスの進化を続けていきます。